

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年2月15日

事業所名 発達相談支援センター ココペリ

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である			○	・スペース確保のために室外、室内と別々に活動を行っている。・人数が増えるのであれば改善が必要ではないか。	人数が多い日ではスペースが限られてくるので活動内容の工夫を行っています。
	2 職員の配置数は適切である			○	・目が行き届かないこともある。・人手があればと思うこともあります。	法令に準じた確保をしておりますが、更に充実した活動を行えるよう活動内容を工夫していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている			○	・体が小さい子はトイレに自分で行けない。・玄関の段差が小さい子たちには高いかなと感じます。	今後は全面バリアフリー化できるよう検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○		・子どもの特性に合った活動がしにくく、トイレもしにくくと思う。おむつ交換をするスペースが必要だと思う。・掃除や美化など職員がしていますが子ども達には活動スペースがせまいかもしれません。	毎日清掃は行っています。今後は活動がしやすい空間を作れるよう活動内容を検討していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している			○	・情報の共有を意識的に行っています。	今後は更に会議の回数を増やし、情報共有を行っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				保護者の意見を踏まえ業務改善に努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				平成31年2月にホームページで公開予定です。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			機会があるなら評価を受けてみたい。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部研修と積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			策定会議を行った上で、保護者とも面談を行いニーズの確認を行い計画を策定しています。	保護者との連携をより行う為に保護者との面談回数を増やしていけるよう改善していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○				
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			・支援計画を確認し、支援の内容を考えることが出来ている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・職員同士での積極的な意見のもと計画を行えています。	季節性や子ども達が楽しめるような活動をもっと取り入れていけるようにしたい。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・同じ活動でも飽きがないようアレンジをしたり、個々の発達状況の変化に応じた支援を行うよう心がけております。	活動の振り返りの時間を増やせるようにしたい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			・現段階での状況を見て周りの職員と話し合った上で作成できている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・朝礼を行い、その日の流れと担当を確認しています。	活動の振り返りの時間を増やせるようにしたい。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・話せるときは職員間で話しますが、勤務時間もありません。出来たことも多いです。	全体ミーティングの時間を増やし、参加出来なかった職員も振り返り等共有できるようにしていきたい。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・情報を共有し、業務時間内に記録を取れています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			・常に個々の発達状況を把握し、計画見直しの必要性の有無を判断しております。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		・児発管だけではなく、職員も一緒に参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			・定期的に情報や状況など報告し、支援内容の工夫、改善を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・毎回送迎時には情報共有を行い、電話や訪問での聞き取りなど行っています。	送迎時は時間が限られているのもあり、ゆっくり話せないこともあるので園との連携を強めていけるようスケジュールなど工夫していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・電話連絡や直接訪問して頂き情報共有を行っています。	今後は園や学校との連携を深められるよう連絡会、保護者会など行っていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		様々な方と交流できる機会を作りたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・送迎時や連絡帳でのやりとり、保護者面談と連絡相談できるようにしています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			・保護者様自身の悩みや課題にも積極的に話し合い、一緒に問題を解決していけるよう働きかけを行っております。	会う機会が少ない保護者や研修会に参加出来ない保護者とも関わりをもてる機会を作りたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		・見学や契約の際に説明し、疑問点や不安な事柄についても、極力丁寧な説明を行うよう心がけております	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			・発達に合わせた支援、保護者の希望、要望を基に児童発達支援計画を作成。計画内容の説明、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・連絡帳や送迎対応時、面談を利用して、悩みを把握し、適切な助言や支援を行うよう努めております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			・イベントの際は保護者同士が集まることもあり、連携できるように努めています。	保護者会を定期的に行い、保護者同士が仲良くなれるように、工夫して会を進行していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・保護者様よりお子様のことで相談を受けた際には、助言をお伝え出来るように努めております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・毎月お便りを郵送しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			・個人情報の取り扱い指針を定め、個人情報が載っている書面はシュレッダーにて処理し、不正な取扱いの防止に努めています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・保護者会を実施しています。	保護者会に関しては不定期で行っているため、定期的に行えるようにしていきたい。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・七夕会に参加したり交流の機会を作っています。	地域の方を招待し、交流できるイベントなどを作りたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・定期的にマニュアルを見直し、職員会議などで周知しています。	保護者会にて、保護者に対してへの周知をしていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年に二回火災避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・契約時に確認を行っています。 ・状況を知らない子もいる。	情報共有に努めてはいますが、全職員が確認できていない点もあるので今後は会議や勉強会の回数を増やし周知の機会を増やしていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・契約時にアレルギー反応を含めた各種留意事項の確認を行っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハットの記入を行い、ミーティングで共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止、権利擁護の研修に参加しています。 ・年に1回内部研修にて虐待防止の研修を実施している	・今後も毎年職員を虐待防止の研修に参加してもらい、内部研修でも虐待について研修を実施していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	・該当者に対しては契約時に説明を行っています。	